

# 2020年度事業報告

## 1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

### 1)事業の推進

\*今年度は休業や時短営業などの政府の方針に従った営業となり、非常に厳しい事業となりました。

\*しかし、逆境の中でもボランティアに支えられながらマスクやマスクケースを作り、販売するなど3店舗共に力を合わせて乗り切りました。

\*コロナ感染防止のために消毒液、体温計などのグッズを整備し、常に感染防止の環境作りに努めました。(入店の人数制限、手指の消毒、マスクの着用、検温など)

\*ショップに人が集まることを憂慮し、チラシをまかないで様々なイベントを実施しました。

徐々に客数が伸びていることは、私たちの励みとなりました。

\*事業の厳しさを周知してもらうことと、寄付文化を拓げるために、「WEショップお助け募金」を設置するなど、寄付を募りました。

\*萩丸を中心に提供品を3店舗で循環しました。

\*今年度も廃油の回収に取り組みました。

総回収量 765kg となり、1,899kgのCO2削減となりました。

### 【中田店】

目標額 420万円 実績：税抜3,695,965円、税込4,063,585円(前年 5,961,431円)

達成率 95.6% 提供者数1,409人(前年1,756人)

- ① 事務所機能とバックヤードを兼ね備えた中田店を作業しやすいように、配置替えしました。
- ② パンツ&スカート200円均一は定期的開催することにより周知が図られ、売上げにも相乗効果が見られました。
- ③ 4月、7月のセールはコロナ禍のため中止にしましたが、8月のセールは感染予防対策を徹底して実施しました。売上は今年の半分でしたが、客数も徐々に戻りつつあると実感しました。
- ④ 要望の多かった東北物産販売を再開しました。産地からも喜びの声をいただきました。
- ⑤ 2年前に開始したポイントカードが周知され毎月15日のポイント2倍デーを再開しました。
- ⑥ 在庫の陶器を使った寄せ植えを販売開始して、大変好評でした。
- ⑦ 連携しているプアンの就労支援を受け入れ、自立に向けたサポートをすることが出来ました。
- ⑧ 萩丸店の衣類、雑貨を循環させて、目新しいものを出すことができました。
- ⑨ 中田中央商店会に加盟し、コロナ禍の中での事業の補助金や年始の統一あいさつ文を貼るなど他の商店との一体感が図られました。

### 【領家店】

目標額 420万円 実績：税抜 3,525,449円、税込 3,875,774円(前年4,424,032円)}

達成率92.3% 提供者数1,305人(前年1,530人)

- ① スタッフが一人のため、数人のボランティアが積極的にイベントなどを企画し、ショップを潤滑に運営することができました。
- ② ボランティアがマスクをいち早く作り、販売しました。大変好評で他の2店舗にも広がりました。
- ③ 夏季に店にある器でグリーンポットを作り販売したところ、好評を受け継続しています。
- ④ マイバックの使用に力を入れ、顧客1人1人に声かけしていきました。その結果、自らマイバックを出してくださる方が増えてきました。
- ⑤ 萩丸店の衣類、雑貨を循環させて、目新しいものを出すことができました。
- ⑥ いずみのQRコードができて、ホームページも直ぐに見ることが出来るようになりました(店内

に3か所に貼っています)

#### 【萩丸店】

目標額 410万円 実績：税抜2,914,166円、税込3,202,624円(前年4,580,562円)

達成率 78.1% 提供者数 1,018人(前年 1,222人)

- ① 11月に入りコロナ感染者が出たため、PCR検査をボランティアなど30人に実施しました。幸いに感染者は1人もでませんでした。この間ボランティアには誠意に対応しました。
- ② 臨時のボランティアミーティングを開催し、ボランティア全員の合意で1月のリニューアルオープンを決意し、参加型で準備をしました(ボランティア参加者は30人(延べ参加者64人))。
- ③ 1月にリニューアルオープンしました。周知を図るために毎週土曜日にも営業し、新たなコミュニティーの拠点となるよう努めました。
- ④ マイバックを推奨しながら、紙袋を欲しい人には2円以上の募金としました。また、農産物や加工品の販売はルールを決めて、寄付につなげました。
- ⑤ リメイク品を製作販売いたしました。
- ⑥ ラオス国籍の女性がワーコレ協会の紹介で就労準備支援に取り組むため、6月から4か月間、ショップで研修を行いました。
- ⑦ 着物文化を広げるために、1月より着物を常設し、着物のリメイクに取り組みました。毎月第1・3・5土曜日は着物半額デーとし、好評を得ています。

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 税抜：10,135,580円、税込：11,141,983円

#### 2) ボランティアミーティングの開催

##### 【中田店】

3回開催しました。(7/27、10/26、3/1)

- ・コロナ禍、7~11名の参加があり、ショップのイベント、アイデアなどについて意見を出し合い、共有しました。
- ・感染対策(消毒、マスク着用、ゴム手袋着用)の重要性を再度確認しました。
- ・新規のボランティアは3人増えました。

##### 【領家店】

2回開催しました。(7/30、3/8~13)

- ・7/30(5人) 月次報告と8月半額セール開催にあたり、感染予防対策などの注意事項を共有しました。
- ・3/8~3/13 1週間にわたり、個別で行いました。今年度の売り上げ、支援先、QRコード、来年度の計画などの話をしました。

##### 【萩丸店】

6回開催しました。

- ・7/27(7人) 熊本支援、マスク寄付、8月から土曜日の休業について話し合いました。
- ・12/14(10人) 12/20(7人) 2日間にわたり、コロナ禍の中、売上げの低迷しているショップ事業について、閉店も視野に入れ、ボランティア全員の意見を聞きました。リニューアルをして、1月の再オープンを決めました。
- ・1/5(5人) リニューアルオープンを控えた最終打ち合わせ

- ・2/3 (11人) 3/3 (9人) 課題などを共有して、今後のイベントなどについて話し合いました。
- ・新規のボランティアは、5人増えました。

## 2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

助成を検討する支援ワーキングチームを組織し、申請書を検討して、理事会に提案しました。事業の低迷やコロナ対策に経費がかかったため、助成は30万円になりました。

以下に助成をしました。

- \*JVC (10万円) : カンボジア「カンボジア農村における地域資源を活用した生業改善支援プロジェクト」
- \*緑の芽青年農業学校 (10万円) : カンボジア「豊かで幸福なコミュニティーの構築」  
緑の芽有機農園学校の有機農業プログラム
- \*地雷廃絶日本キャンペーン (5万円) : ミャンマー、カヤ州における義足支援事業
- \*ジュマネット (5万円) : インドアッサム州における全国市民登録簿から除外された人々への支援プロジェクト
- \*熊本を中心とした台風被害を支援するために、店内募金に取り組みました。  
募金先: (認定) シャンティボーランティア会 募金額: 39,593円

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 カンボジア、インド、ミャンマー、日本などの社会的に立場の弱い女性や子どもたち

【事業高】 339,593円

## 3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

### 1) キャンペーン事業

ショップという拠点を有効活用したキャンペーンを実施して、関心を高めました。

#### ① 貧困なくそうキャンペーン (世界の貧困について学ぶ)

例年通りに国内の貧困をテーマとして、DV被害者の自立を支援する「NPO法人共同の家プラン」に寄付をしました。

【期間】 10月1日～10月31日

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 80,000円

#### ② 愛のチョコ募金キャンペーン (放射能などを含めた核と子どもの影響について知る)

ジム・ネットの「愛のチョコ募金」に賛同し、販売して寄付に結びました。(100個)

【期間】 10月1日～10月31日

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 55,000円

#### ③ 東日本震災キャンペーン (震災・津波・原発被害を知る)

\*10年が過ぎて、記憶が薄れている今、再度問題に向き合おうと考え、いわき市で写真を撮っている工藤史雄さんの「写真展『福島いま』」を各ショップで展示しました。

\*子どもの健康被害は非常に深刻であること、甲状腺がんの子どもたちが増えていることなどを考慮し、3月11日の売り上げと店内募金は「3.11甲状腺子ども基金」に寄付をしました。

共感する人が多く、募金も集まりました。

\*いわき市の知的障がいの自立を目指す団体の手作りドーナツやオーガニックコットンの製品販売に取り組みました。

【期間】 3月1日～3月31日

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 262,966円

## 2) 共育事業

コロナ禍の中、講座などの開催が厳しい一年でした。しかし、感染防止に配慮しながら講座の必要性を感じ、以下を開催しました。また、WE21主催の「日韓フォーラム」に参加し、いずみの活動をアピールしました。

4/2 (木) IRのミニフォーラム (参加者25人)

9/12 (土) やさしい葬儀 (参加者28人)

11/2 (月) JVCカンボジア報告会 (参加者20人)

3/16 (火) 日韓フォーラム (参加者 5人)

【期間】 4月～11月

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 10,367円

## 3) 招聘事業

10年目の節目として3.11のキャンペーンに、いわき市の女性たちの「手作りの会」の女性たちを招聘して、糸繰りなどのワークショップを予定していましたが、コロナの緊急事態宣言の発出のために断念しました。

## 4) フェアトレード事業

ジンジャーティーや復興支援として東日本地域の物産を販売して、生産者の支援に繋がりました。特に、石鹸や消毒液が品薄になった時には、WE21いずみのロゴ入りの石けんが売れました。

【期間】 通年

【場所】 泉区内のWEショップ中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 257,110円 (ジンジャーパウダー61,811円、東日本物産195,299円)

## 5) ネットワークを広げて、問題解決を図りました。

①他のWE21地域NPOと連携して学習会などを開催しました。

・ジュマネットの支援事業の報告会を、複数地域連携してZOOMで開催しました。

②生活クラブ泉 commons のイベントなどに参加する方針でしたが、今年度はコロナの感染の不安があり、実施できませんでした。

## 4. 事業の広報普及を図る事業

1) 広報紙やショップチラシを充実させ、発行しました。

・広報紙は10月、2月の2回を予定通りに発行しましたが、ちらしまきはコロナ感染を考慮し、近隣には撒くことができませんでした。(発行部数：各600枚。)

・QRコードを取得し、よりHPにアクセスしやすくしました。

2)HPを充実させました。

広報活動が重要であるため、HPの製作と管理をワークーズに依頼して、ショップの情報や活動報告など、さまざまな情報を広く発信しました。

【期間】 通年

【場所】 主に泉区内

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 149,307円

(内訳：HP業務委託費118,800円 広報宣伝費30,507円)